○　科学技術週間（一般公開）への参画

消防庁消防研究センター・消防大学校、日本消防検定協会及び一般財団法人消防防災科学センターでは、科学技術週間（※）にあたり、研究開発や消防用機械器具の紹介等を目的として一般公開を行っています。

（一社）日本消防放水器具工業会は、一般公開に当たって、日本消防検定協とタイアップし、屋内消火栓の操作説明及び操作体験を実施しています。

令和８年度においても、技術委員会のメンバーを中心に来場者に説明を行うなどの活動を行いました。

日　時　令和８年４月１７日（金）１０時～１６時
場　所　日本消防検定協会機械総合試験場前（東京都調布市深大寺東町 4-35-16）
来場者　一般公開全体で５８０名が来場。



科学技術週間とは（※）

「科学技術週間」は、科学技術について広く一般の方々に理解と関心を深めていただき、日本の科学技術の振興を図ることを目的として昭和 35 年 2 月に制定されました。

毎年 4 月 18 日の「発明の日」を含む 1 週間（月曜日日に始まり日曜日に終わる）　は「科学技術週間」と定められています。全国の各機関では、おもにこの期間に各種科学技術に関するイベントなどを実施することとなっています。

日本が真に豊かな国として発展し世界の平和と繁栄に貢献していくためには、「教育・文化立国」を実現するとともに、社会経済発展の原動力となる「知」の創造と活用に向けて「科学技術創造立国」の実現を図ることがとても重要です。

文部科学省では、さらなる科学技術の振興を図るために、質の高い優れた科学技術系人材の育成、そして科学技術に対する一般の方々の理解と関心を高めていくことが必要だと考えています。

最近では、次代を担う青少年の「科学技術離れ」「理科離れ」も指摘されています。青少年の科学技術に親しむ機会を充実することも将来の日本にとって大切なことです。

そこで、全国各地の科学館、博物館、大学、試験研究所などでは、この科学技術週間を利用して講演会、展覧会、映画会、座談会、施設公開など、さまざまな催しが行われます。